

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	AIシステム科 (2年制)	夜・通信	14単位 (210時間)	7単位 (160時間)	
	情報システム開発科 (2年制)	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	情報処理科 (2年制)	夜・通信	10単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	電気工学科 (2年制)	夜・通信	9単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	電気工事技術科 (2年制)	夜・通信	10単位 (270時間)	7単位 (160時間)	
	コンピュータグラフィックス科 (2年制)	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	CG映像制作科 (2年制)	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	電子応用工学科 (2年制)	夜・通信	9単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	アニメーション科 (2年制)	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	

高度ゲーム制作科（4年制）	夜・通信	16単位	13単位	
ゲーム制作科（2年制）	夜・通信	8単位 (210時間)	7単位 (160時間)	
ゲーム制作研究科（3年制）	夜・通信	12単位 (330時間)	10単位 (240時間)	
高度情報処理科（3年制）	夜・通信	10単位 (270時間)	10単位 (240時間)	
ネットワークセキュリティ科（2年制）	夜・通信	10単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
アニメーション研究科（3年制）	夜・通信	10単位 (240時間)	10単位 (240時間)	
グラフィックデザイン科（2年制）	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
Webデザイン科（2年制）	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
コンピュータグラフィックス研究科（3年制）	夜・通信	15単位 (240時間)	10単位 (240時間)	
ゲーム企画科（2年制）	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
モバイルアプリケーション開発科（2年制）	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
DXスペシャリスト科（2年制）	夜・通信	12単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
電気工学科（2年制）	⑧夜・通信	5単位 (160時間)	4単位 (90時間)	
情報処理科（2年制）	⑧夜・通信	4単位 (160時間)	4単位 (90時間)	
電気工事士科（1年制）	⑧夜・通信	7単位 (240時間)	4単位 (80時間)	
ネットワークセキュリティ科（2年制）	⑧夜・通信	9単位 (180時間)	4単位 (90時間)	

(備考) ()内の数字は(○時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。

授業科目の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。

掲載：<https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/department-information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 掲載： https://www.denshigakuen.ac.jp/pdf/officer-list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社学夢堂 代表取締役	2025. 6. 26 ～ 4年以内の 会計年度の うち最終の ものに関する 提示評議員会 の終結の 時まで	組織運営体制への チェック・広報
非常勤	株式会社ファンコーポ レーション 代表取締役	2025. 6. 26 ～ 4年以内の 会計年度の うち最終の ものに関する 提示評議員会 の終結の 時まで	組織運営体制への チェック・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【教育課程編成及び授業計画の作成について】</p> <p>各学科の教育課程は、年間2回開催される「教育課程編成委員会」にて、外部委員(業界団体・企業から参加)からの意見を参考に、毎年度の学内検討を経て決定する。その上で、授業科目における講義・演習・実習等の内容については、科目担当教員が検討して授業計画書(シラバス)を作成する。作成された授業計画書は、科目間の整合性を学科会議で調整を図り完成する。</p> <p>授業計画書は、学内の教員用内規『授業運用ガイドライン』の中で、授業科目名、必要時間数(単位数)、担当教員名(実務経験の有無)、授業の目的と概要、授業の到達目標、成績評価の方法と基準、授業計画(各回の授業プラン)、授業外学習、テキスト・参考文献、履修前提に関する事項を全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式で作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>教育課程については、授業開始時期の前々年度迄に各学科において作成され、教育部長及び校長の承認によって正式決定する。また、授業計画書は、授業開始時期の前年度迄に担当教員において作成され、学科長及び教育部長の承認によって正式決定されたものをホームページ上で公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/departement-information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

教務規程において、学内の成績評価、履修、進級・卒業要件を規定している。成績評価は、各授業科目の試験、課題の提出、出席状況等の総合評価により認定される。尚、学生には、入学時に配布する『学園生活ガイド』に記載し周知している。

【参考】教務規程の抜粋

1) 令和8年度入学者用

(成績の評価)

- 第11条 科目の成績評価は、授業担当者が試験、平常の成績、成果物等により総合して行う。
- 2 成績評価基準は、90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、60点未満を不可(単位不認定)とする。
 - 3 当該科目の出席時間数が所定の5分の4に満たない学生は、別に設ける補講等を受けなければ評価対象としない。

(単位数の算出)

- 第12条 1単位は、45時間の学修(授業及び授業外学修を含む)を標準とする。
- 2 前項に基づき、授業科目の単位数は次の区分によって算定する。
 - (1) 講義および演習科目は、15時間の授業(対面または遠隔を含む)をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習および実技科目は、30時間の授業をもって1単位とする。
 - 3 卒業研究、卒業制作に類する科目については、学修成果の特性を踏まえ、必要な学修時間を考慮して単位数を定めることができる。
 - 4 単位数の算定に関する詳細は、シラバスにおいて明示するものとする。

(進級)

- 第35条 卒業学年以外において、所属する各学科の教育課程に定められた必修科目(選択必修科目を含む)のうち、当該学年までに履修しなければならない全ての科目の単位数に対して、5分の4以上の認定を受けている学生に進級を認める。

(卒業認定・専門士、高度専門士の付与)

- 第36条 所属する各学科が定めた全ての必修科目を履修し成績の評価を受け、かつ卒業に必要な単位数以上を修得した学生に対し卒業を認め、付与要件を満たしている学科においては、専門士または高度専門士の称号を付与する。

(留年)

- 第37条 第35条、第36条を満たさない学生は、留年とする。
- 2 各学年における出席時間数が、全授業時間数の3分の2に満たない学生は、留年とする。
 - 3 留年となった学生が、転科を希望する場合は、学籍異動届を提出し、校長の許可を受けなければならない。
 - 4 留年となった学生が、退学を希望する場合は、退学届を提出し、校長の許可を受けなければならない。

2) 令和7年度以前入学者用

(成績の評価)

第12条 科目の評価は、科目の授業担当者が試験、平常の成績、成果物等により行う。

- 2 評価基準は、90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、60点未満を不可とする。
- 3 当該科目の出席時間数が所定の5分の4に満たない学生は、別に設ける補講等を受けなければ評価対象としない。

(進級)

第37条 卒業学年以外において、所属する各学科の教育課程に定められた必修科目（選択必修科目を含む）のうち、当該学年までに履修しなければならない全ての科目の単位数に対して、5分の4以上の認定を受けている者に進級を認める。

(卒業認定・専門士、高度専門士の付与)

第38条 所属する各学科が定めた卒業に必要な授業時間数を履修し成績の評価を受けた者に対し卒業を認め、付与要件を満たしている学科においては、専門士または高度専門士の称号を付与する。

(原級留置)

第39条 第37条に該当しない学生は、原級留置とする。

前条に該当しない学生は、原級留置とする。

- 2 各学年における出席時間数が、全授業時間数の3分の2に満たない学生は、原級留置とする。
- 3 原級留置となった学生が、転科を希望する場合は、学籍異動届を提出し、校長の許可を受けなければならない。
- 4 原級留置となった学生が、退学を希望する場合は、退学届を提出し、校長の許可を受けなければならない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学内の教員用内規『授業運用ガイドライン』の中で、成績評価方法・基準について示している。

成績評価は、各授業科目の試験、課題の提出、出席状況等の総合評価により認定される。評価基準は、90点以上を秀(S)、80点以上90点未満を優(A)、70点以上80点未満を良(B)、60点以上70点未満を可(C)、60点未満を不可(D)とする。各科目の成績評価を下記の計算に基づいて、成績総得点として算出する。

得点=(S:単位数×4)+(A:単位数×3)+(B:単位数×2)+(C:単位数)

成績総得点は、学科単位での成績の順位付けを行う際に用いると共に、学業優秀者の褒賞対象選出などにも活用している。

成績評価については、教務規程に記載した上で、入学時に配布する『学園生活ガイド』及び授業計画書に、成績評価方法・基準を記載して学生に周知している。また、教務規程と『授業運用ガイドライン』をホームページ上で公開している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	掲載： https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>日本電子専門学校は、「電子技術を核とした創造性豊かな技術者の育成を通して世界に貢献する。」という建学の精神のもと、創立より一貫して、コンピュータ・電気・電子分野のスペシャリスト育成を本校の使命と捉え、産業界への貢献に繋げている。</p> <p>卒業要件については、各学科が定めた卒業に必要な単位数（時間数）を履修し成績の評価を受けた者に対し卒業を認めると定め、教務規程に記載してホームページ上で公開している。</p> <p>尚、卒業要件は、入学時に配布する『学園生活ガイド』に記載して学生に周知している。また、ディプロマポリシーを『学科ガイド』に記載すると共に、ホームページ上で公開している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	掲載： https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人電子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をHP公開している。 https://www.denshigakuen.ac.jp/financial_information/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【1】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	AI システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	109 単位 (1,710 単位時間)	22 単位 (300 単位時間)	88 単位	7 単位 (1,410 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		157 人	82 人	4 人	1 人	5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
69 人 (100%)	1 人 (1.5%)	62 人 (89.9%)	6 人 (8.7%)
(主な就職、業界等) トヨタ自動車/JIG-SAW/テクノブレイブ/電通総研テクノロジー/日本電気(NEC)/ドコモ・データコム/キヤノン/日立ソリューションズ・テクノロジー/ソプラ/東京東信用金庫/日本アイ・ビー・エムデジタルサービス/博報堂プロダクツ/NTT データ先端技術/八千代エンジニアリング/JTP/GMO ペイメントゲートウェイ/ヤマトシステ			

<p>ム開発/JR 東日本情報システム/さくらインターネット/エム・ソフト/トリプルアイズ/システムインテグレータ/Avinton ジャパン/AltX/NSW/ソルクシーズ/ネクストワン/富士インフォックス・ネット/DXC テクノロジー・ジャパン/メンバーズ/シー・エー・シー 等 ICT 業界、AI・ビッグデータ業界、システム開発業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー (必修)」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>統計データ分析コンペティション 入賞 OracleJava Bronze、OracleJava Silver、Python3 エンジニア認定基礎試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
164 人	23 人	14.0%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【2】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報システム開発科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	110 単位 (1,740 単位時間)	37 単位 (570 単位時間)	76 単位	10 単位 (1,350 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人		149 人	71 人	5 人	5 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
65 人 (100%)	0 人 (0%)	61 人 (93.8%)	4 人 (6.2%)
（主な就職、業界等） キヤノン/DeNA/NTT データアイ/NTT ドコモソリューションズ/NTT データ CCS/富士通/トヨタ自動車/日立ソリューションズ/明治安田システム・テクノロジー/ドコモ・データコム/テクノプロ/JTP/NTT データ先端技術/東京京装コンピュータ/東急テックソリューションズ/富士ソフト/ソーバル/セゾンテクノロジー/NHK テクノロジーズ/JR 東日本情報システム/アクセンチュア/NTT-ME/日立製作所/NHN PlayArt/テプコシステムズ/日立社会情報サービス/サイバーズ/インフォテック/NHN テコ			

ラス/いすゞシステムサービス/コープ情報システム/ラック/TIS ソリューションリンク/デジタル・インフォメーション・テクノロジー/W2 等システム開発業界、IT 業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

ソフトウェア開発競技大会 入賞

情報処理技術者能力認定試験 2 級、基本情報技術者、OracleJava Bronze、OracleJava Silver

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
153 人	9 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【3】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報処理科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	107 単位 (1,710 単位時間)	28 単位 (420 単位時間)	94 単位	9 単位 (1,650 単位時間)	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280 人	338 人	160 人	9 人	10 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
163 人 (100%)	1 人 (0.6%)	149 人 (91.4%)	13 人 (8.0%)
（主な就職、業界等） キヤノン/Sky/NTT ドコモビジネスエンジニアリング/日立ソリューションズ・クリエイト/東急テックソリューションズ/SBSホールディングス/MI デジタルサービス/アイビスジャパン/共栄システムズ/協立技研工業/日本ユニカ・システムズ/日本テクノストラクチャア/大和システムクリエイト/菱友システムズ/コスモ/エヌティシー/KDDI エボルバ/CLINKS/東都システム開発/NTT テクノクロスサービス/トランスコスモス/ソーバル/NHK テクノロジーズ/富士テクノサービス/日本情報産			

業／ライテック／GMO インターネットグループ／セコム／コープ情報システム／日清食品 等システム開発業界、IT 業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

基本情報技術者、IT パスポート、情報検定 情報活用試験 3 級、マイクロソフトオフィススペシャリスト

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
355 人	21 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【4】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電気工学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	107 単位 (1,830 単位時間)	18 単位 (1,200 単位時間)	72 単位	8 単位 (390 単位時間)	9 単位 (240 単位時間)
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人		83 人	37 人	6 人	4 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	1 人 (2.8%)	32 人 (88.9%)	3 人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 関東電気保安協会／東北電気保安協会／東京電力ホールディングス／北海道電力／日本 工営エナジーソリューションズ／東京エネシス／太平電業／クリハラント／きんでん／ 関電工／ユアテック／九電工／東光電気工事／エクシオグループ／JESCO ホールディン グス／東京地下鉄／小田急電鉄／西武鉄道／相模鉄道／首都圏新都市鉄道／日本電設工 業／日本リーテック／新生テクノス／イオンディライト／野村不動産パートナーズ／日 鉄／興和不動産ファシリティーズ／三菱地所プロパティマネジメント／アズビル／日本			

電技／朝日工業社／三機工業／新日本空調／能美防災／三機サービス／川重冷熱工業／ ジャパンエレベーターサービスホールディングス／三菱電機プラントエンジニアリング 等電気設備管理、電気工事、電気設計業界
(就職指導内容) 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を 活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科 共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課 程の中で計画的に進めている。 尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内 入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。
(主な学修成果（資格・検定等）) 電気工学教材企画コンテスト 入賞 第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士
(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者 に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	3人	3.9%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリ アサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導すること によって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」 等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面 談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【5】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気工事技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	110 単位 (1,980 単位時間)	56 単位 (930 単位時間)	28 単位	22 単位 (930 単位時間)	4 単位 (120 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		56 人	21 人	4 人	5 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	29 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 関電工／きんでん／エクシオグループ／日本電設工業／日本リーテック／NR 電車線テクノ／飯田電機工業／東武鉄道／福田電気工事／浜野電設／JESCO ホールディングス／円エンジニアリング／コムシスモバイル／新和電工／東邦電気工業／スズデン／合同電気工事／ニチボウ／ヤマト電設／マスミホールディングス／タマテクノシステム／日本ビルコン／三位電気／田中電気／大永電気／信和興業／中央電気工事／三沢電機／福田電気工事／日本電設電車線工事／東日本電気エンジニアリング／中日本ハイウェイ・エ			

エンジニアリング東京／首都高電気メンテナンス 等電気工事施工、太陽光発電施工、ネットワーク施工、電気工事・施工業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

技能五輪国際大会 入賞、電気工事競技大会 入賞

第一種電気工事士、第二種電気工事士、エネルギーマネジメントアドバイザー

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	4人	6.1%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【6】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	コンピュータグラフィックス科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	106 単位 (1,710 単位時間)	30 単位 (870 単位時間)	82 単位	14 単位 (1,230 単位時間)	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人	233 人	65 人	11 人	17 人	28 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
119 人 (100%)	0 人 (%)	84 人 (70.6%)	35 人 (29.4%)
(主な就職、業界等) オムニバス・ジャパン/白組/デジタル・フロンティア/TONEPLUS/東映アニメーション/小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント/バンダイナムコフィルムワークス/スタジオぴえろ/オー・エル・エム・デジタル/グラフィニカ/サンジゲン/ニューロン・エイジ/神風動画/スクウェア・エニックス/カプコン/レベルファイブ/フロム・ソフトウェア/イマージュ/アークシステムワークス/アティック/アニマ/キ			

<p>ヤトルコール／GEMBA／CGCG スタジオ／ジェットスタジオ／D・A・G／デジタル・メディア・ラボ／A-1Pictures／ラピス／オレンジ／フレーム／サイバーコネクトツー／ModelingCafe／AnimationCafe／ポリゴン・ピクチュアズ／神央薬品／Glitz Visuals／Neiro／アバン／ボンズ／CygamesPicture／ニンテンドーピクチャーズ 等 CG、ゲーム業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>CG 作品コンテスト 入賞</p> <p>CG クリエイター検定ベーシック、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
274 人	34 人	12.4%
(中途退学の主な理由)		
学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>キャリアセンターを中心に組織的な学生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【7】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CG映像制作科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	108 単位 (1,740 単位時間)	22 単位 (720 単位時間)	86 単位	16 単位 (1,260 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		139 人	34 人	5 人	12 人	17 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
64 人 (100%)	1 人 (1.6%)	53 人 (82.8%)	10 人 (15.6%)
(主な就職、業界等) 白組/MARK/TREE Digital Studio/オムニバス・ジャパン/KASSEN/jitto inc./slanted/ビジュアルマントウキョー/FLUX/Spade&Co./1/コンセプトラボ/日本映像クリエイティブ/レイルズ/Z-FLAG/デジタル・フロンティア/ポリゴン・ピクチュアズ/AnimationCafe/Modeling Cafe/D・A・G/デジタル・メディア・ラボ/OLM/スパイロ/フレーム/アニマ/フィニット/tsumiki/イマジナリーパワー/StudioGOONEYS/ジェットスタジオ/TBS アクト/テレビ朝日クリエイト/NHK アート/			

NHK テクノロジーズ／IMAGICA／テトラ／アティック／東映アニメーション／MAPPA／Ufotable／オレンジ／サンジゲン／unknownCASE／ボンズ／ラークスエンタテインメント／スクウェア・エニックス／カプコン／セガ／ネイキッド／コマデン 等 CG 映像業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

CG 作品コンテスト 入賞

CG クリエイター検定エキスパート、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
150 人	11 人	7.3%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【8】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電子応用工学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	113 単位 (1,800 単位時間)	28 単位 (600 単位時間)	74 単位	13 単位 (1,230 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人		52 人	32 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	1 人 (5%)	16 人 (80%)	3 人 (15%)
(主な就職、業界等) トヨタ自動車/ヨシダ/ホリ/ジャパンエレベーターサービスホールディングス/ビー ネックステクノロジーズ/東洋エンジニアリング/ティーネットジャパン/JESCO ホー ルディングス/日本システム開発/大成技研/アパールデータ/マイスターエンジニア リング/プライムエンジニアリング/マイナビ Edge/パナソニックマーケティングジ ャパン/防衛省自衛隊/武藤工業/八洲測器/日本エクス・クロン/NAVIO/グローブシ ップ/メイテックフィルダーズ/フェニックスエンジニアリング/アンドールシステム			

サポート／コムシモモバイル／アスパーク／協立電子／富士オートメーション／イシダ／大成ラミック／東洋化成／真田 KOA／セントラル／島津アクセス／NEC ネットワーク・センサ／JUKI／アベテクノシステム 等エレクトロニクス業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

ロボット競技大会 入賞

第二級陸上特殊無線技士、ETEC(組込み技術者試験制度)組込みソフトウェア技術者試験、IoT システム技術検定試験

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	6 人	12.0%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【9】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	アニメーション科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	101 単位 (1,740 単位時間)	26 単位 (540 単位時間)	60 単位	15 単位 (1,200 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人		88 人	24 人	7 人	15 人	22 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） MAPPA/ユーフォーテーブル/東映アニメーション/オー・エル・エム/バンダイナムコピクチャーズ/スタジオぴえろ/ボンズ/日本アニメーション/手塚プロダクション/虫プロダクション/動画工房/Acca effe/スタジオコメット/アトリエローク 07/アンサー・スタジオ/シグナル・エムディ/サテライト/エンカレッジフィルムズ/シーステーション/Studio 五組/プロダクション・アイジー/トリガー/Seven Arcs/スタジオディーン/旭プロダクション/Wish/エム・エス・シー/A-1Pictures/スタジオ			

雲雀／ジェー・シー・スタッフ／ウィットスタジオ／ライデンフィルム／Studio Mother ／ゆめ太カンパニー／サンジゲン／TOHO animation STUDIO／CygamesPictures／バンダイ ダイナムコフィルムワークス／パイブリーアニメーションスタジオ／シンエイ動画 等ア ニメーション業界
(就職指導内容) 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を 活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科 共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課 程の中で計画的に進めている。 尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内 入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。
(主な学修成果（資格・検定等）) アニメ作品コンテスト 入賞 色彩検定 3級
(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者 に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	12人	14.3%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリ アサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導すること によって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」 等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面 談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【10】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度ゲーム制作科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	126 単位	10 単位	202 単位	36 単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		41 人	3 人	6 人	4 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） ゲーム開発業界 ゲームCGデザイナー（ゲームアーティスト）/ゲームプログラマー/テクニカルアーティスト/ゲームプランナー（ゲームデザイナー）/レベルデザイナー/サウンドクリエイター/ゲームプロデューサー/ゲームディレクタープロジェクトマネージャー 等 ※新設学科のため想定される業界と職種を記載			

<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>CGクリエイター検定ベーシック、CGエンジニア検定ベーシック</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>卒業者数、進学者数、就職者数、主な就職、業界等、中途退学の現状の人数については今年度新設学科のため該当なし。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【11】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム制作科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	108 単位 (1,710 単位時間)	32 単位 (480 単位時間)	68 単位	8 単位 (1,230 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		277 人	69 人	9 人	12 人	21 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
133 人 (100%)	3 人 (2.3%)	96 人 (72.2%)	34 人 (25.6%)
(主な就職、業界等) カプコン/セガ/コナミアミューズメント/コナミデジタルエンタテインメント/バンダイナムコエンターテインメント/コーエーテクモゲームス/キャメロット/Aiming/元気/フロム・ソフトウェア/ハ・ン・ド/ランカース/アークシステムワークス/ジョルダン/マーベラス/シリコンスタジオ/GAE/プロトタイプ/東芸エンタテインメント/pH スタジオ/カイロソフト/アクワイア/ウニコ/ジーアールドライブ/アソビモ/アンビション/あまた/リズ/ヘッドロック/キャトルコール/ゲームオン/ネッ			

トハック／gumi／エイティング／シムス／ウィル／ヴァンガード／NHNPlayArt／ガンホー・オンライン・エンターテイメント／白組／Yunuo International／サミーネットワークス／Thirdverse／イスコ／オルカ／イルカ／ポリゴンマジック／マジシステム／epics／ワンダープラネット／アルグラフィック 等ゲーム開発業界、IT 業界
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>ゲーム作品コンテスト 入賞 情報検定情報活用試験 3 級、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
322 人	32 人	9.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【12】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲーム制作研究科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	149 単位 (2,610 単位時間)	22 単位 (540 単位時間)	98 単位	66 単位 (2,940 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
300 人		269 人	36 人	11 人	12 人	23 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
91 人 (100%)	1 人 (1.1%)	86 人 (94.5%)	4 人 (4.4%)
(主な就職、業界等) 任天堂／カプコン／スクウェア・エニックス／セガ／コナミデジタルエンタテインメント／レベルファイブ／サイバーコネクトツー／トーセ／リアルスタイル／イマージュ／Live2D／リベル・エンタテインメント／ジーアールドライブ／カリスト／グランディング／キャメロット／スタジオ斬／トイロジック／マーベラス／プラチナエッグ／オルカ／トライエース／サクセス／フロム・ソフトウェア／ゲームスタジオ／ガンホー・オンライン・エンターテイメント／ソフトウェア協会 (SAJ) ／スリーリングス／トムクリエ			

<p>イト／シムス／ウィル／エヌディーキューブ／デジタル・フロンティア／NHN JAPAN／KLab／Cygames／ランカース／テンベン／キャトルコール／ユークス／ウニコ／サイバーステップ／キノトロープ／ザックス・エンターテインメント／ソリッドスフィア／エーアイ／アソビモ／Aiming／ガンバリオン／ヴァンガード 等ゲーム開発業界、IT 業界</p> <p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー (必修)」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p> <p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>ゲーム作品コンテスト 入賞 情報検定情報活用試験 3 級、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p> <p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
294 人	28 人	9.5%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【13】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度情報処理科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	147 単位 (2,460 単位時間)	38 単位 (570 単位時間)	92 単位	19 単位 (1,920 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		128 人	21 人	4 人	12 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41 人 (100%)	0 人 (0%)	39 人 (95.1%)	2 人 (4.9%)
(主な就職、業界等)			
キヤノン/JR 東日本情報システム/富士通/ぐるなび/東急テックソリューションズ/MIXI/日立社会情報サービス/トランスコスモス/ジョルダン/セゾンテクノロジー/DNP 情報システム/LINE ヤフー/NTT データアイ/NTT ドコモソリューションズ/YKK AP/アクセンチュア/GMO ペパボ/NSW (日本システムウェア) /ソフトバンク/ヤマトシステム開発/ヴァル研究所/ANA システムズ/東芝インフォメーションシステムズ/日本総合研究所/扶桑電通/テプコシステムズ/日立ソリューションズ/富士フイルム			

ビジネスイノベーション／京セラコミュニケーションシステム／CTC システムマネジメント／NHN テコラス／富士ソフト／USEN／ドコモ・データコム／NTT データ先端技術／チームラボ／小田急電鉄 等システム開発業界、IT 業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

ソフトウェア開発競技大会 入賞、Web デザイン競技大会

基本情報技術者、OracleJava Bronze、OracleJava Silver、OracleJava Gold

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
134 人	9 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【14】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	105 単位 (1,710 単位時間)	14 単位 (210 単位時間)	78 単位	13 単位 (1,500 単位時間)	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人	136 人	62 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43 人 (100%)	1 人 (2.3%)	38 人 (88.4%)	4 人 (9.3%)
(主な就職、業界等)			
NTT コミュニケーションズ/NTT-ME/NTT 東日本/ラック/ソフトバンク/アルティウスリンク/NEC ネットエスアイ/TOKAI ホールディングス/さくらインターネット/ユニアデックス/NTT コムエンジニアリング/CTC システムマネジメント/DXC テクノロジー・ジャパン/IIJ エンジニアリング/ブロードバンドタワー/NTT データ先端技術/キヤノン/三井情報/ネットワンシステムズ/MKI テクノロジーズ/IDC フロンティア			

<p>／NHN テコラス／サイバートラスト／エーピーコミュニケーションズ／京都アニメーション／ユービーセキュア／アイレット／GMO インターネットグループ／アマゾン ウェブ サービス 等ネットワーク・セキュリティ業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>ネットワークシステム競技大会 入賞</p> <p>CCST ネットワーキング、Cisco CCNA、Linux 技術者認定資格（LPIC・LinuC）</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117人	14人	12.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【15】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	アニメーション研究 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	143 単位 (2,550 単位時間)	42 単位 (750 単位時間)	74 単位	27 単位 (1,800 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		111 人	20 人	7 人	21 人	28 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (88.5%)	3 人 (11.5%)
(主な就職、業界等) バンダイナムコフィルムワークス/マッドハウス/ウィットスタジオ/オー・エル・エム/東映アニメーション/スタジオぴえろ/ジェー・シー・スタッフ/ボンズ/ENGI/シャフト/ベガエンタテイメント/オレンジ/スタジオピーコック/CloverWorks/Wish/スタジオ・イースター/サテライト/アンサー・スタジオ/Seven Arcs/高橋プロダクション (T2 studio) /チップチューン/美峰/スタジオワイエス/グラフィニカ/			

スタジオヴォルン／旭プロダクション／ライジングフォース／マッドボックス／スタジオ雲雀／サンジゲン／ライデンフィルム／マカリア／ポリゴン・ピクチュアズ／バンダイナムコピクチャーズ／TOHO animation STUDIO／MAPPA／トムス・エンタテインメント／フィール／コスモプロジェクト／キャンディーボックス／プロダクション・アイジー等アニメーション業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー(必修)」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

アニメ作品コンテスト 入賞

色彩検定 3級

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	3人	3.1%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【16】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	グラフィックデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	97 単位 (1,740 単位時間)	18 単位 (480 単位時間)	60 単位	21 単位 (1,260 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		75 人	25 人	3 人	8 人	11 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (83.3%)	6 人 (16.7%)
(主な就職、業界等) サンリオ/ミクシィ/グリー/富士フィルムグラフィックソリューションズ/ポケモン/日立製作所/NHK/トッパングラフィックコミュニケーションズ/テレサイト/ピコトン/NHN Fukuoka/ユニコ/山本デザイン研究所/サトーホールディングス/光邦/アイエスアイ/ネイキッド/こどもの館/わかさ生活/東京カラーフォト・プロセス/晃和/永昌堂/トミナガ/ダイコウクリエ/図書印刷/三報社印刷/東美/トロア企画			

／スタジオピーコック／一真社／D2C R／三協美術／平賀／帆風／ポパール／MIC／山一印刷／たきコーポレーション／朝日メディアプロダクション／メディアコンサルティング／クレアテック／arma bianca／エスコミュケーション／メディア工房／オレンジデザインラボ／サマンサ・タバサ／伊勢丹／産経新聞／スカラベスタジオ／サンテック／あまた／シムス／タスタス／Slow 等デザイン・印刷業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

デザインコンテスト 入賞

色彩検定 3級、情報検定 情報デザイン試験、Illustrator アドビ認定アソシエイト試験、Photoshop アドビ認定アソシエイト試験

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	1 人	1.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【17】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	Web デザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	105 単位 (1,710 単位時間)	12 単位 (510 単位時間)	84 単位	9 単位 (1,200 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		67 人	36 人	4 人	6 人	10 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (88.9%)	4 人 (11.1%)
(主な就職、業界等)			
LINE ヤフー/楽天/サイバーエージェント/ダウンゴ/ぐるなび/博報堂アイ・スタジオ/グリー/DeNA/ミツエーリンクス/あとらす二十一/ベースメントファクトリープロダクション/メンバーズ/キノトロープ/VPC/C. D. UNITED/揚羽/アルビド・ジャパン/USEN-NEXT HOLDINGS/ビズリーチ/アイデム/伊藤園/伊藤ハム/ベルーナ/わかさ生活/カレンティア/LIG/UNITZ/ウィルゲート/ジーピーオンライン/CCG WORKINGHEADS/五箱/エヴォワース/LYZON/TAM/ピーエスシー/コアフレーム/ブレインズ・ネットワーク/ワンゴジュウゴ/エ			

<p>クスチェンジ/リベロジック/スパイス/メディアミックス/電通デジタル/ブランデックス/リゲルソフト/ブランジスタソリューション/カークスヴィル/フューチャースコープ/アライズ/ムーンラビット/Aegis/ホットファクトリー/カヤックボンド/ネクストステージ/ガジェログ/ライセンスアカデミー 等 Web 制作業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>Web デザイン競技大会 入賞 色彩検定 3 級、情報検定 情報デザイン試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	4 人	5.5%
(中途退学の主な理由)		
学習上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【18】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	コンピュータグラフィックス研究科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	131 単位 (2,490 単位時間)	26 単位 (510 単位時間)	38 単位	67 単位 (1,980 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人		93 人	14 人	5 人	12 人	17 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	1 人 (3.3%)	26 人 (86.7%)	3 人 (10%)
(主な就職、業界等) 白組／カプコン／MEGALIS／マーザ・アニメーションプラネット／東映デジタルセンター ツークン研究所／Spade&Co.／デジタル・メディア・ラボ／GEMBA／プラチナゲームズ／ KASSEN／東映アニメーション／MARK／デジタル・フロンティア／NHK アート／日本放送 協会／studio bokan／オムニバス・ジャパン／jitto inc.／フラックス／MAPPA／プロダ クション・アイジー／ヴォクセル／ポリゴン・ピクチュアズ／ビジュアルマントウキョ			

<p>ー／ドロイズ／コンセプトラボ／テトラ／ライノスタジオ／サンジゲン／ABC アニメーション／オー・エル・エム・デジタル／オレンジ／チップチューン／萌／D・A・G／イメージ・ロジック／ARSTECH GUILD／スクウェア・エニックス／FelixFilm／神央薬品／メディア・ビジョン／directrain／ゼノス／Lay-duce／ジーアールドライブ／Z-FLAG／クレッセント 等 CG 業界、アニメーション業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>CG 作品コンテスト 入賞 ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	11 人	10.7%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【19】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム企画科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	110 単位 (1,770 単位時間)	46 単位 (750 単位時間)	52 単位	12 単位 (1,020 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		61 人	24 人	7 人	5 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	0 人 (0%)	26 人 (86.7%)	4 人 (13.3%)
(主な就職、業界等) アンビション/SNK/カプコン/ScopeNext/D・A・G/フロム・ソフトウェア/サイバーコネクトツー/スリーリングス/ウィル/ヴァンガード/リベル・エンタテインメント/epics/キャメロット/ジーン/サクセス/エクスチェンジ/アルグラフィ/Digitalmonkey/マトリックス/GAE/アルカディア・プロジェクト/アクセスゲームズ/PSPS スタジオ/トイロジック/イグニス/スタジオスリーエイト/ソリッドスフィア/ダイダロス/ナビオコンピュータ/メディア・ビジョン/プロトタイプ/エイティ			

<p>ング/スタジオ斬/スタジオ雲雀/フレイマ/アップーグラウンド/ラムダ・プランニング/ハ・ン・ド/プラチナエッグ/京楽ピクチャーズ./GMOインターネットグループ/アリカ/ハイド/あまた/エッチ・アイ・シー/クルーズ/スマイルアクス/HIT/アプリシィ/KMS 等ゲーム開発業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー(必修)」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ゲーム作品コンテスト 入賞 ビジネス能力検定ジョブパス 3級</p>
<p>(備考) (任意記載事項) ()内の数字は(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	3人	4.4%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【20】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	モバイルアプリケーション開発科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	111 単位 (1,740 単位時間)	20 単位 (300 単位時間)	90 単位	14 単位 (1,680 単位時間)	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人	72 人	44 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (96.9%)	1 人 (3.1%)
(主な就職、業界等) 電通総研 IT/クルーズ/キヤノン/NTT データフィナンシャルテクノロジー/ハンズラボ/ローソン/フェンリル/オークファン/G-gen/エム・フィールド/トマト/アドウェイズ/アライズ/コープ情報システム/エフ・エスソフトウェア開発/JTP/CLINKS/ケイアイエヌ/ソリッドシード/アウトソーシングテクノロジー/富士ソフト/マッシュアップブレイン/シオステクノロジー/小松情報システムサービス/テクノブレイブ			

／ラウレアソリューション／レイシスソフトウェアサービス／メンバーズ／カレンティア／フォーカスシステムズ／グッドワークス／システム・リノベイト／ユニスティ／w2／ソリッド／サークレイス／UT グループ／LIFULL／広済堂ホールディングス／ZOZO／チームラボ／アイレット／YAZ／エクスチェンジソリューションズ／三恵クリエス等モバイルアプリ開発、システム開発業界

(就職指導内容)

各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。

尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

アプリ開発コンテスト 入賞

OracleJava Bronze、OracleJava Silver、OracleJava Gold、基本情報技術者

(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	5人	7.5%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【21】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	DX スペシャリスト科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	108 単位 (1,710 単位時間)	52 単位 (780 単位時間)	50 単位	6 単位 (930 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人		33 人	24 人	2 人	7 人	9 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学習支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (75%)	5 人 (25%)
(主な就職、業界等) トランスコスモス/クラフト/アイレット/リックソフト/第一情報システムズ/ワールドインテック/コモタ/ユニバーサルコンピューターシステム/カーズ/日本トラフィックサービス東京支店/ULTI-ME/ANA スカイビルサービス/トライサーブ/大成ラミック/T I Sシステムサービス/アクトシステム/インタートレード/アジア商事/ワールド避雷針工業/インソース/第一コンピューター/SMS データテック/アスパーク/ゼネット/ライクスタッフィング/ル・スタイル 等の多様な業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を随時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>ビジネスプランコンテスト入賞</p> <p>ITパスポート、マイクロソフトオフィススペシャリスト、CompTIA IT Fundamentals</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	3人	7.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【22】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電気工学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	夜	80 単位 (1,720 単位時間)	4 単位 (1,320 単位時間)	66 単位	2 単位 (160 単位時間)	8 単位 (240 単位時間)
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人		44 人	0 人	6 人	4 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (93.8%)	1 人 (6.3%)
（主な就職、業界等） 東京地下鉄／関東電気保安協会／三菱地所プロパティマネジメント／興和不動産ファシリティーズ／関電ファシリティーズ／小田急ビルサービス／京王設備サービス／イオンディライト／東洋ビルメンテナンス／NHK ビジネスクリエイト／CTC ファシリティーズ／東京海上日動ファシリティーズ／三機サービス／ジャパンエレベーターサービスホールディングス／日本テクノ／古川計装／ニチボウ／新日本空調／東京エネシス／日本工営／東光電気工事／新生テクノス／JESCO ホールディングス／大興電子通信 等電気設備管理、電気工事、電気設計業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士</p>
<p>(備考) (任意記載事項) ()内の数字は(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	2人	5.4%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【23】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報処理科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	夜	81 単位 (1,760 単位時間)	24 単位 (480 単位時間)	48 単位	9 単位 (1,280 単位時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人		24 人	0 人	5 人	4 人	9 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	1 人 (5.3%)	18 人 (94.7%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 富士通/LINE ヤフー/NT Tコム ソリューションズ/日立ソリューションズ・ネクサス/東急テック・ソリューションズ/SBSホールディングス/アイビスジャパン/共栄システムズ/協立技研工業/日本ユニカ・システムズ/日本テクノストラクチャア/大和システムクリエート/菱友システムズ/日立グローバルライフソリューションズ/コスモ/エヌティシー/ダイブレイク/東京京装コンピュータ/CLINKS/東都システム開発/NT Tテクノクロスサービス/トランスコスモス/ソーバル/富士テクノサービス/日本情報産業/ライテック/GMO インターネット/セコム/サンシステムズ/イ			

ソフトウェア/JTP/カイトス/アーキテクトコア/キーマネジメントソリューションズ 等システム開発業界、IT 業界
<p>(就職指導内容)</p> <p>クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>基本情報技術者、IT パスポート</p>
<p>(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	7 人	17.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>健康上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【24】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気工事士科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	42 単位 (1,080 単位時間)	24 単位 (480 単位時間)	120 単位	18 単位 (600 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		14 人	0 人	3 人	4 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (82.4%)	3 人 (17.6%)
（主な就職、業界等） 日本電設工業／スズデン／関工パワーテクノ／三機サービス／NAA ファシリティーズ／ANA スカイビルサービス／マスマ電設／大成／太平ビルサービス／近和電業／ヤマト電設／日本管財／浜野電設／京浜電設／飯田電機工業／ミノシマ／栄新テクノ／中沢工業所／三位電気／アイテックムラモト／エムテック／丸電工業／合同電気工事／福田電気工事／ジュス／セントラル／大永電気／田中電気／キューティー／大京電気工業／横井電気工業／秋北電工／田中電設／日立コンシューマ・マーケティング／三菱地所プロパティマネジメント／横浜ビルシステム 等電気工事施工、太陽光発電施工、ネットワーク			

ク施工、電気工事・施工業界
(就職指導内容) クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 第一種電気工事士、第二種電気工事士
(備考) (任意記載事項) () 内の数字は (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15.0%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【25】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	84 単位 (1,700 単位時間)	8 単位 (160 単位時間)	73 単位	3 単位 (1,540 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		11 人	0 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
主な就職、業界等) NTT コミュニケーションズ/NTT コムソリューションズ/NTT-ME/NTT 東日本/ラック/ ソフトバンク/アルティウスリンク/NEC ネットエスアイ/TOKAI ホールディングス/ KEL テクニカルサービス/さくらインターネット/ユニアデックス/プログデンス/ NTT コムエンジニアリング/CTC システムマネジメント/DXC テクノロジー・ジャパン /IIJ エンジニアリング/ブロードバンドタワー/NTT データ先端技術/キヤノン/三			

井情報／ネットワンシステムズ／MKI テクノロジーズ／パートナー／ IDC フロンティア ／ジェイエムテクノロジー 等ネットワーク・セキュリティ業界
(就職指導内容) クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) Cisco CCNA、Linux 技術者認定試験(LPIC, LinuC)
(備考)(任意記載事項)()内の数字は(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。 令和7年度の卒業学年(2年生)の在籍者が0人のため、卒業者数、進学者数、就職者数は、すべて0人で記載。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	2人	28.6%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
AI システム科 昼間部 (2年制)	200,000 円	570,000 円	562,000 円	
情報システム開発科 昼間部 (2年制)	200,000 円	570,000 円	562,000 円	
情報処理科 昼間部 (2年制)	200,000 円	570,000 円	562,000 円	
電気工学科 昼間部 (2年制)	200,000 円	561,600 円	484,000 円	
電気工事技術科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	504,000 円	
コンピュータ グラフィックス科 昼間部 (2年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
CG 映像制作科 昼間部 (2年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
電子応用工学科 昼間部 (2年制)	200,000 円	561,600 円	484,000 円	
アニメーション科 昼間部 (2年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
高度ゲーム制作科 昼間部 (4年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
ゲーム制作科 昼間部 (2年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
ゲーム制作研究科 昼間部 (3年制)	200,000 円	602,400 円	600,000 円	
高度情報処理科 昼間部 (3年制)	200,000 円	570,000 円	588,000 円	
ネットワーク セキュリティ科 昼間部 (2年制)	200,000 円	570,000 円	562,000 円	

アニメーション研究 科 昼間部 (3年制)	200,000円	602,400円	600,000円	
グラフィックデザイ ン科 昼間部 (2年制)	200,000円	570,000円	562,000円	
Webデザイン科 昼間部 (2年制)	200,000円	570,000円	562,000円	
コンピュータグラフ ィックス研究科 昼間部 (3年制)	200,000円	602,400円	600,000円	
ゲーム企画科 昼間部 (2年制)	200,000円	602,400円	600,000円	
モバイルアプリケー ション開発科 昼間部 (2年制)	200,000円	570,000円	562,000円	
DXスペシャリスト 科 昼間部 (2年制)	200,000円	570,000円	562,000円	
電気工学科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
情報処理科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
電気工事士科 夜間部 (1年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
ネットワーク セキュリティ科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校 HP で公開している https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/self-assessment/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校では、卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、日本語教育機関、在学生の父母、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局、在学生など、本校の関係者を評価委員として、学校関係者評価委員会（以下、評価委員会という）を組織する。評価委員会では、本校自己評価報告書にもとづき、学校の運営状況や学科の教育状況、目標達成度、進路状況、卒業生の関連業界での活躍等、教育活動に関する自己評価結果を報告する。評価委員より、自己評価結果の評価を受け、自己評価結果の妥当性客観性・透明性を高めるとともに、学科への理解促進や連携協力による今後の運営や教育の改善等を図ることを基本方針とする。</p>		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
アニメーション企画制作会社 社員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～ 企業
ゲームソフト開発会社 社員	2026. 05. 01 2028. 03. 31	～ 企業
広告宣伝・販売促進総合プロデューサー会社 役員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～ 企業
ソフトウェア開発会社 社員	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 企業
セキュリティ教育サービス会社 社員	2025. 06. 01 2027. 03. 31	～ 企業
IT ソリューションサービス会社 社員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～ 企業
画像情報分野協会	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
電子技術分野協会	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
コンピュータソフトウェア分野協会	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
電気技術分野協会	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
組込みシステム開発分野協会	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
商工会議所	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 職能団体
高等学校教員	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～ 高校教員等
高等学校教員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～ 高校教員等
日本語学校 職員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～ 日本語学校

ソフトウェア開発会社 社員	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	卒業生
	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	卒業生
町内会 役員	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	地域住民
会社員	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	在学生父母
会社員	2025. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生父母
会社員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生父母
会社員	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生父母
アニメ分野	2024. 04. 01 2027. 03. 31	～	在学生
ゲーム分野	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	在学生
情報分野	2024. 05. 01 2027. 03. 31	～	在学生
CG 分野	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	在学生
ネットワーク分野	2025. 04. 01 2027. 03. 31	～	在学生
ゲーム分野	2025. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生
CG 分野	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生
情報分野	2026. 04. 01 2028. 03. 31	～	在学生
第三者評価結果の公表方法			
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/third-party-evaluation/			
(備考)			

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jec.ac.jp/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310400122
学校名 (〇〇大学 等)	日本電子専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 電子学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		497 人 (209人)	478 人 (202人)	511 人 (226人)
内 訳	第Ⅰ区分	154 人	132 人	
	(うち多子世帯)	(32人)	(31人)	
	第Ⅱ区分	66 人	71 人	
	(うち多子世帯)	(11人)	(-人)	
	第Ⅲ区分	58 人	55 人	
	(うち多子世帯)	(17人)	(16人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	71 人	75 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	57 人	51 人	
区分外 (多子世帯)	93 人	94 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				- 人 (-人)
合計 (年間)				516 人 (228人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	- 人	0 人	0 人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0 人	0 人	0 人
GPA等が下位4分の1	21 人	0 人	38 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	- 人	- 人	- 人
計	22 人	- 人	38 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。